

「モロッコ産タコ」の真実

西サハラ友の会 松野明久 2025.9.30



モロッコ産

真だこ

冷凍ダコ輸入量

2024年

順位	国	輸入量 (トン)
1	モーリタニア	9,713
2	モロッコ	7,194
3	中華人民共和国	5,957
4	ベトナム	4,713
5	インドネシア	1,315
6	セネガル	425
7	フィリピン	305
8	メキシコ	288
9	パキスタン	242
10	タイ	232

 西アフリカ

西アフリカの大西洋岸はタコが豊富。

冷凍ダコ総輸入量（30,099トン）の半分以上がモーリタニアとモロッコからのもの。

モロッコはスペイン、イタリア、日本が主な輸出先。



カナリア諸島 (ス)



西サハラ

モーリタニア

西サハラは紛争地。1975年以来、モロッコが軍事占領し、支配している。モロッコの漁業会社や漁師がタコをとっている。

「モロッコ産」 = 本当は西サハラ産



西サハラ漁業の歴史

1884年	ベルリン会議で西サハラがスペイン領と認められる。今のダーフラに植民地都市が建設される。西サハラ海域で漁をしたのは主にスペイン領カナリア諸島の漁師たち。
第二次世界大戦	戦後、西サハラ開発が加速。海藻採取、漁業が発展。西サハラを「州」に。
1966年	ダーフラを漁業の拠点として発展させること、漁港の整備などを提案。
1969年	南東大西洋漁業委員会（ICSEAF）設立、南アフリカ等の漁業管理が開始。スペインでは「メルルーサ危機」で、漁業の中心が西サハラのイカ・タコ類にシフト。 <u>日本の「イカ・タコ」漁船（地引き網）が西サハラに登場し、スペイン漁船を脅かす。フランス漁船はロブスターを獲る。</u>
1975年	スペイン・モロッコ・モーリタニアの秘密会議で「マドリード協定」が締結される。スペインは西サハラの海へのアクセスを条件にモロッコに西サハラを引き渡したと推測される。モロッコはスペイン漁船800隻が20年間西サハラの海域で漁をすることを許可した。
1985年	<u>日本モロッコ漁業協定。署名されるも批准されず。交換公文にて事実上実施。</u>
1988年	EECモロッコ漁業協定締結。その後のEUモロッコ漁業協定のさきがけとなる。
2001年	EUモロッコ漁業協定から「タコ」を除外。

SUMMARY

IDENTIFICATION

SCIENTIFIC NAME(s)

Octopus vulgaris 真ダコ

SPECIES NAME(s)

Common octopus



Image: Comingio Mercuriano (1845-1915) in Jatta Giuseppe (1860-1903) - I Cefalopodi viventi nel Golfo di Napoli (sistemica) : monografia

RELATED LINKS:

According to FAO/CECAC (FAO 2016) the population of *Octopus vulgaris* in Western Africa, based on political or geographic limits rather than on biological reasons, is divided into three main units: Dakhla (26°N-21°N), Cape Blanc (21°N-16°N) and Senegal-Gambia (16°N-12°N). According to FAO, these stocks have recently been confirmed using a vessel monitoring system (VMS) and genetic analysis (FAO 2020).

In Northern and Central Morocco, the species is captured by both industrial and artisanal fisheries (INRH).

CATCH

39.285 (Catch ('000 t))

Source: Fishsource 15th

北緯26-21度

Spatial considerations for the Dakhla stock of *Octopus vulgaris*

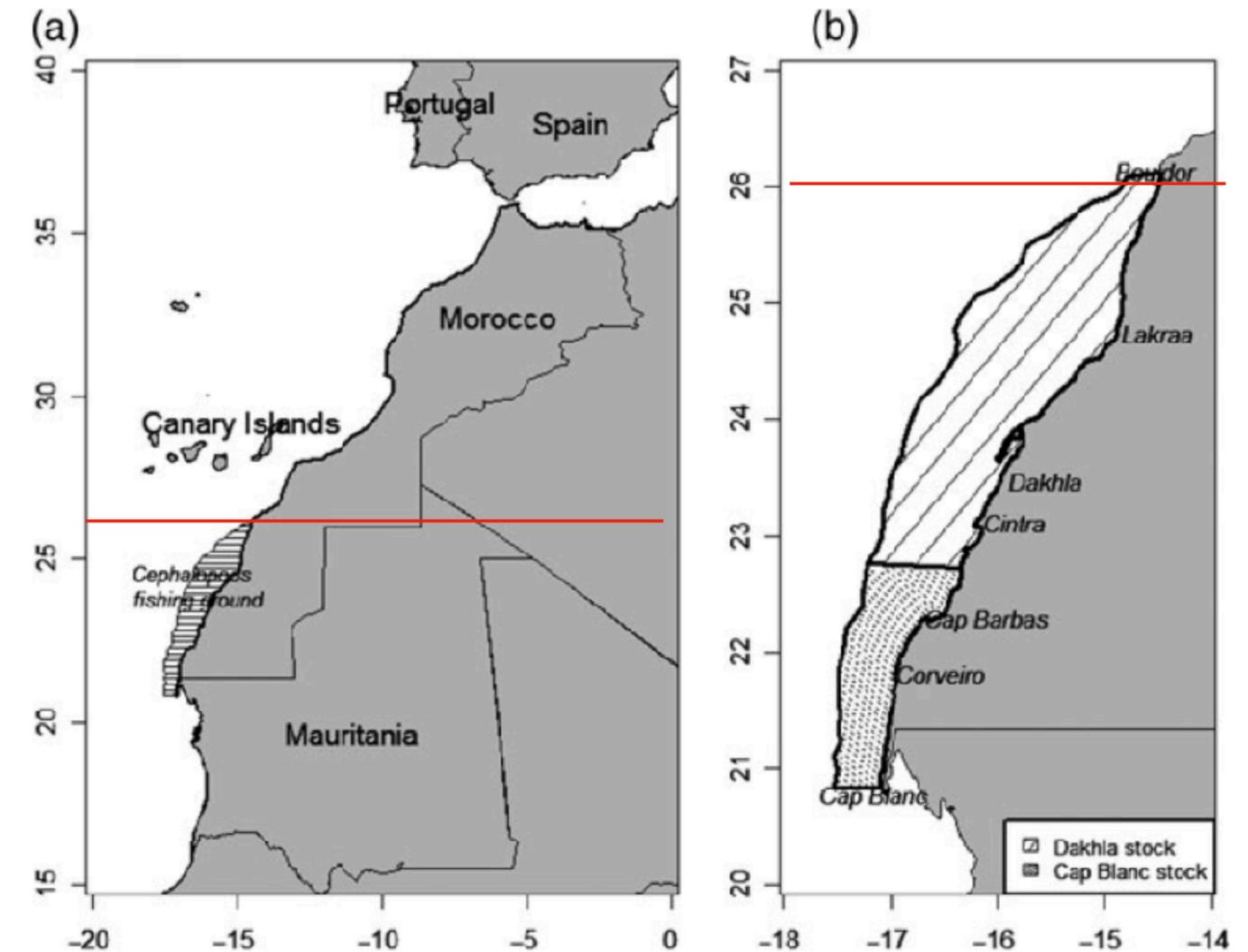


Figure 1. (a) The study area, and (b) the two *O. vulgaris* stocks on Moroccan cephalopod fishing grounds.

Abdelmalek Faraj and Nicolas Bez, "Spatial considerations for the Dakhla stock of *Octopus vulgaris*: indicators, patterns, and fisheries interactions, ICES Journal of Marine Science, 64: 1820-1828.

西サハラの蛸漁

沖合 (offshore) : 大きな漁業会社の冷蔵設備をもった船、トロール漁、アガディールに水揚げ。

沿岸 (coastal) : 冷蔵設備のない船、ダーフラ等多様な港に水揚げ。

漁師 (artisanal) : 小型船による蛸壺漁で、ダーフラ沿岸で水揚げし、業者に引き渡す。



西サハラの紛争

国際法とリアル・ポリティークの相克

• 国際法

非植民地化を進める非自治地域（17）の一つ。自決権をもつ民族。モロッコの主権は及ばない（1975年国際司法裁判所勧告的意見）。1991年に停戦・住民投票で合意、安保理が住民投票ミッションを決議。人権侵害が多発、政治囚として投獄。

• リアル・ポリティーク

しかし、住民投票は実施されていない。ジブラルタル海峡の戦略的重要性。モロッコ王室（穏健なイスラーム）は対テロ戦争の同盟。モロッコの親イスラエルの立場。西アフリカフランス語圏の要（フランスの権益の番頭役）。スペイン漁業の西サハラに海に対する依存。移民問題。

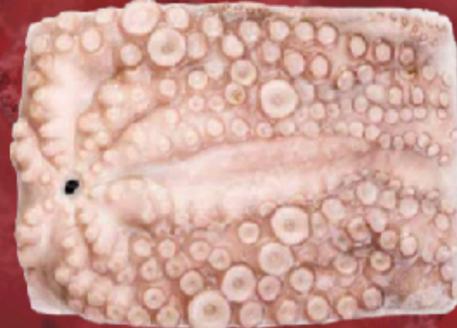
PULPO

Octopus vulgaris

Cefalópodo muy apreciado en la hostelería moderna, en todas sus vertientes. Para formatos grandes, disponemos de pulpo congelado en barco o elaborado en tierra, en varios tamaños. Además, disponemos de pulpos minis en bloque, o en IQF (congelados individualmente) para que solo uses la cantidad necesaria.



Calidad TOP



Pulpo de barco

Marruecos

7075 | Pulpo de barco B | 4-6kg/un
59922 | Pulpo de barco T2 | 3-4kg/un

Pulpo elaborado

Marruecos

7042 | Pulpo elaborado 00 | 4-5kg/un
7083 | Pulpo elaborado 0 | 3-4kg/un

Pulpo mini

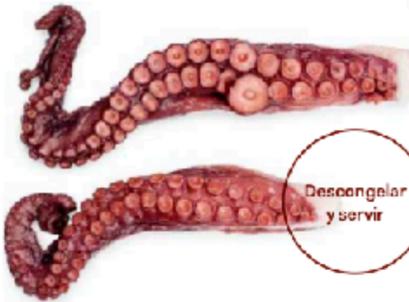
Vietnam

7291 | Bloc | 20-40un/kg | 5x1kg
7292 | Bloc | 40-60un/kg |
7293 | Bloc | +50un/kg | 5x1kg
7118 | I.Q.F. | 40-60un/kg | 10x500g



Pata de pulpo cocida

5645 | 2 patas | 200-300g/un | 1x4,5kg aprox.
7413 | 8 patas/estuche | 180g/un | 4x1,5kg



Descongelar y servir



7264

Pata de pulpo cocida T2

400-500g/estuche | 2 patas



Calidad TOP

7265

Pata de pulpo cocida T3

300-400g/estuche | 2 patas



Calidad TOP

7263

Pata de pulpo cocida T5

300-400g/estuche | 4 patas



Calidad TOP

Producto refrigerado

2024年10月4日 EU司法裁判所判決

1. EUモロッコ農産品自由化協定は西サハラを含むことはできない。
2. 西サハラ産の青果をモロッコ産と表示することはできない。

にもかかわらず、
モロッコ産と書いてある。

スペインの水産会社Ferrerの販売カタログ

占領地の産品をどう考えるか？－2つのEU法の判例



ソーダ・ストリーム

入植地の工場で作った製品を「イスラエル産」として輸入できない。(2010年)

→EUの特恵待遇は得られない。



プサゴット・ワイン

入植地のワイナリーで作ったワインを「イスラエル産」として輸入できない。(2019年)

→EUの原産地表示規則に違反。

日本はどうするのか？

ビジネスと人権、エシカル消費の観点から

原産地表示規則との関係で「モロッコ産」のままでもいいのか？

モロッコの西サハラ占領を強化することにつながっていないか？